

愛される花・胡蝶蘭

我が家のリニューアル完成のお祝いに、嬉しくも親友より胡蝶蘭を頂いた。真っ白で大きな花はまるで蝶の羽ばたきを連想させ、ダイナミックな気品ある南国の花を感じさせた。驚いたことにこの花は少々の水を与えるだけで、2か月ほどその優雅な美しさを保ち続けた。

阪神淡路大震災で神戸に住む我が家は全壊した。二度と住めない家になり果ててしまった。近くに住む父の家も半壊となった。その家を譲り受けて傾いている家を起こし、内外装し屋根も取り替えた。住めるようになったのは震災後10か月が経ってからであった。その喜びと安堵の中での美しい胡蝶蘭のプレゼントは生涯忘れられない思い出となっている。

毎年2月には東京ドームで「世界らん展日本大賞」が開催されている。これまで私も何度か見学させて頂いた。またそれ以外の全国各地でラン展が開催されている。特に温室を持つ植物園ではランが主役を占めている。日本人にとって今やランは最も愛される花の一つになっているようだ。

南国・高知に行った。太平洋に面した温暖な気候を持つ須崎市には、胡蝶蘭の栽培と販売をしている所があった。大きな温室の中はまるで花園のごとく、豪華な胡蝶蘭が咲き乱れていた。白、ピンク、黄色、そしてあまり見かけない色とりどりの花もあった。自宅に「大輪赤リップ」の鉢を送ってもらった。ちなみに胡蝶蘭の花言葉は「幸福の飛来」である。



撮影 2014 年春

